

地域ネットワーク医療部／地域医療連携室

Department of Community Network and Collaborative Medicine and the Regional Medical Liaison Office



患者さんにご家族の思いを大切に

当部は2000年8月に院内措置で設置され、2003年4月に地域ネットワーク医療部が、2004年5月には地域医療連携室が発足した。

地域ネットワーク医療部は、退院調整、在宅療養支援といった後方支援を中心に、教育・専門家の育成にも取り組んでいる。後方支援においては、患者さんと家族の希望を汲み取りながら、質の高い医療を提供するために、言い換えれば、生活の質を保ちながら療養が可能となるように、患者支援計画の立案・調整を行っている。地域の介護サービス機関、医療機関とも密に連携をとっている。

地域医療連携室では、他医療機関からの紹介予約、セカンドオピニオンの受付といった前方支援業務を中心に、逆紹介予約、入退院報告等の業務にあたっている。

代表的診療対象疾患

全診療、全疾患に対応。医療・介護の環境整備を行うことの重要性が病院内で認知されており、乳幼児から90歳以上の高齢者まで実にさまざまな患者さんの支援を担当している。

業務内容の特徴と実績

地域ネットワーク医療部

医療ソーシャルワーカー7名、専任看護師3名、医師2名(専任1名)、事務職員2名が勤務している。ソーシャルワーカーと看護師が一体となって活動しており、病状、生活環境に応じた適切な社会資源を患者さんと家族に提供していくのに適切な体制となっている。スタッフによる患者さんと家族への面談も支援のなかで重視している。医学情報は主として依頼科医療スタッフより収集しているが、毎日行われている専任医師を含むカンファレンスも支援の方向性を決める為に役立っている。また、週1回全病棟のラウンドも実施。地域の在宅医・訪問看護・ケアマネージャー・地域包括センターと連携しながら、必要時カンファレンスを行うこともある。2014年度の新規支援依頼総数は1,372件、うち39%は在宅療養へ向けた退院支援、31%は転院支援、29%が外来通院中の患者・家族への療養・介護支援、1%は療養上の問題支援だった。

地域医療連携室

地域医療連携室は事務職員10名が、時間差でシフトを組んで勤務している。地域医療連携室での2014年度の紹介予約件数は11,053件、セカンドオピニオン受付件数269件、逆紹介予約件数625件であった。2015年3月より、地域医療機関の先生方の夜間診療時間帯に対応できるよう、紹介予約受付時間を19時30分に拡大した。

